

【日高管内の学力向上策に関連した特色ある取組】

小中連携した学力向上に係る検証改善サイクルの推進

◆ 教育局の学力向上策の概要

- 教育局主催研修において、「検証改善サイクルシート」を活用し、中学校区で協議を行い、小学校と中学校の一体的な学力向上の取組を推進
- 小中連携した授業改善に向け、学校教育指導訪問等における互いの授業交流及び研究協議の実施を促すとともに、小中連携の取組の好事例を普及

◆ 学力向上策に関連した特色ある取組

取組のポイントとその具体

■ 1 「9年一貫教育」を見据えた小中連携（日高町立日高小学校・日高中学校）

- ・「令和6年度日高小・中グランドデザイン」を基に、共通の重点教育目標を設定し、育成を目指す資質・能力を3つの柱で整理するとともに、各教科の9年間の系統性を踏まえた年間指導計画の作成、授業改善についての小中合同研修の実施等の取組を推進した。
- ・小・中学校において、研究主題を共有するとともに、合同研修を年2回設定し、授業公開及び協議を行うことにより、9年間を見通した学力向上に向けた授業改善に取り組んだ。
- ・児童生徒の実態に合わせた「家庭学習の手引」を作成し、保護者に向けて発信するとともに、「学校評価」の項目を小・中学校で共通にするなど、家庭や地域と連携して教育活動の検証を行った。

令和6年度 教育の重点	日高をらし、自ら学ぶ子どもを育てる	
日高町学力向上3年次計画目標の達成	全国調査の平均正答率を全教科全国平均以上にする。標準学力調査(CRT)を全教科全国基準以上にする。計画を立てて学習に挑戦する児童生徒の割合を90%、中80%以上にする。	
日高小の教育目標	校訓 まごころ	日高中の教育目標
【知】すすんで学ぶ子	【徳】心ゆたかな子	【体】自らきたえる子
育成を目指す資質・能力の3つの柱【小学校版】		
知識・技能の獲得	思考力・判断力・表現力の育成	学びに向かう力、人間性等の涵養
① 言語能力 ・聞く・読む・話す・書く力 ・言葉の働きや役割・特徴やよまりに関する理解と使い分け	④ 問題や課題の解決の計画を立て、結果を予測しながら実行する力 ⑤ 振り返って次の問題発見・解決につなげていく力 ⑥ 根拠をもって考えを明確に伝える力	⑦ 学んだことを日常生活で積極的に活用する力 ⑧ 多様な考えを受容したり、理解したりする力 ⑨ 地域や社会と接続する力
② 計算能力 ・四則計算を始めとする基礎的な計算能力 ③ コンピュータ等を用いたの情報取得・整理・比較・発信・伝達する力		

【日高小・日高中グランドデザイン（小学校版）】



【中学校教員による小学校参観の様子】

■ 2 学力向上に向けた「検証改善サイクルシート」の活用・共有（日高町立日高小学校・日高中学校）

- ・教育局が提供している「検証改善サイクルシート」を活用し、小・中学校が、それぞれの学力向上の取組状況を年複数回共有するとともに、協議を通して、共通の取組を設定し、実施した。
- ・求められる資質・能力の育成に資する教育課程実施のために、互いの教育活動のつながりを意識しながら授業実践を行った。

＜令和6年度における検証改善サイクルシートの子どもの姿（※グランドデザインから）＞		R6育成を目指す資質・能力に対する①日々の学習内容の積み重ね ②家庭学習の定着 ③情報選択力 ④考えをまとめ伝える力 ⑤考えを広げ深める力の良さの気づき・粘り強さ	
【年度末からの引継ぎの状況】	【第1期：4月～学校教育指導第1次訪問・EBC協議会（10月）】	【第2期：5月～2学期中間～2次訪問・EBC協議会（11月）】	【第3期：6月～3学期中間～3次訪問・EBC協議会（12月）】
現状課題	①各教科の目標設定、分析及び、前年度のチャレンジテストを履修して実施、分析し、校内研修で交流する。 ②教務主任が検証改善シートを作成し、1次訪問での指導をもとに、さらに改良したものを学力向上委員会で提示し、職員会議で共有する。 ③各教科の成績や家庭学習の状況等について中学校入学者及び入学後の進路に生かせるように小中連携で共有する。 ④家庭学習の手引を作成し、管理職の指導のもと、主担任と保護者と前期中間テスト前、提示する。保護者懇談を行い、保護者と関心した生活習慣・学習習慣について共有をはかる。	①各教科の目標設定、分析及び、前年度のチャレンジテストを履修して実施、分析し、校内研修で交流する。 ②教務主任が検証改善シートを作成し、1次訪問での指導をもとに、さらに改良したものを学力向上委員会で提示し、職員会議で共有する。 ③各教科の成績や家庭学習の状況等について中学校入学者及び入学後の進路に生かせるように小中連携で共有する。 ④家庭学習の手引を作成し、管理職の指導のもと、主担任と保護者と前期中間テスト前、提示する。保護者懇談を行い、保護者と関心した生活習慣・学習習慣について共有をはかる。	①各教科の目標設定、分析及び、前年度のチャレンジテストを履修して実施、分析し、校内研修で交流する。 ②教務主任が検証改善シートを作成し、1次訪問での指導をもとに、さらに改良したものを学力向上委員会で提示し、職員会議で共有する。 ③各教科の成績や家庭学習の状況等について中学校入学者及び入学後の進路に生かせるように小中連携で共有する。 ④家庭学習の手引を作成し、管理職の指導のもと、主担任と保護者と前期中間テスト前、提示する。保護者懇談を行い、保護者と関心した生活習慣・学習習慣について共有をはかる。
具体的取組内容	①分析を生かした指導内容を検討し、各種課題・テストで上位層は85%以上、下位層は50%以上の数値目標を達成できるよう、各教科で教科指導及び放課後学習を行う。 ②共有した内容に基づいて、学力向上委員会を月1回は開催し、検証の改善をはかる。 ③3月の引き継ぎ及び1学期の振り返りをもとに夏休み前中に小学校と交流する。 ④4月下旬に生徒向けの家庭学習の手引き説明会を行う。7月に保護者説明会を行い、前期中間テストの成果や課題を中心に話し合った生活習慣や学習習慣について共有し、指導に生かす。	①各教科の目標設定、分析及び、前年度のチャレンジテストを履修して実施、分析し、校内研修で交流する。 ②教務主任が検証改善シートを作成し、1次訪問での指導をもとに、さらに改良したものを学力向上委員会で提示し、職員会議で共有する。 ③各教科の成績や家庭学習の状況等について中学校入学者及び入学後の進路に生かせるように小中連携で共有する。 ④家庭学習の手引を作成し、管理職の指導のもと、主担任と保護者と前期中間テスト前、提示する。保護者懇談を行い、保護者と関心した生活習慣・学習習慣について共有をはかる。	①各教科の目標設定、分析及び、前年度のチャレンジテストを履修して実施、分析し、校内研修で交流する。 ②教務主任が検証改善シートを作成し、1次訪問での指導をもとに、さらに改良したものを学力向上委員会で提示し、職員会議で共有する。 ③各教科の成績や家庭学習の状況等について中学校入学者及び入学後の進路に生かせるように小中連携で共有する。 ④家庭学習の手引を作成し、管理職の指導のもと、主担任と保護者と前期中間テスト前、提示する。保護者懇談を行い、保護者と関心した生活習慣・学習習慣について共有をはかる。

【検証改善サイクルシート】

◆ 成果・課題

- ・小・中学校のグランドデザインや研究主題を共有する合同研修等を行ったことにより、小・中学校教員の互いの教育活動のよさの理解や、学力向上に向けた意識の共有が図られてきた。
- ・小・中学校における「検証改善サイクルシート」に基づいた協議の実施により、検証改善サイクルにおける共通の取組が明確になり、児童生徒の実態交流や授業改善につながってきた。
- ・全国学力・学習状況調査等の客観的な指標に基づいた経年での学力の状況を踏まえ、小規模校のメリットを生かした学習指導を行うとともに、9年間を見通した教育課程の編成を図る必要がある。